



医療施設整備・機能強化セミナー

ー 地域医療提供体制を支える急性期病院の機能強化に向けた取組み ー

主催：独立行政法人福祉医療機構

〈開催日〉 平成 24 年 2 月 24 日（金） 〈大阪会場〉 毎日新聞ビル・オーバルホール

平成 23 年 12 月 1 日に「平成 24 年度診療報酬改定の基本方針」が出されました。ここでは、超高齢化社会においても、持続可能な医療保険制度を堅持し、効率的かつ効果的な医療資源の配分を目指すことが重要とし、先般取りまとめられた「社会保障・税一体改革成案」に沿って、病院・病床機能の充実・重点化・効率化等を着実に実施していく必要があり、2025 年のイメージを見据えつつ、計画的な対応を段階的に実施していくための第一歩とすべきである、とうたわれております。

こうした状況の中、現在の病床数による一般病院の区分けを、2025 年には高度急性期と地域に密着した一般急性期、亜急性期、長期療養というような医療機能に着目した再編を目指しており、現在新たな急性期病床群（仮称）の検討も始まっているところです。

このような変革の中、地域医療提供体制を支えてこられた一般病院は、地域完結型医療の一翼を担う機能分化・連携を進めていくことが可能かどうか、選択と集中の方向性を検討することが重要となります。

そのための視点としては、今年度セミナーで取り上げた、特定の診療科の専門特化や在宅療養支援に取り組む他、急性期病院として今後更なる機能強化を行うことや、急性期病院を支える後方支援病院とした取組みを行うことなどが必要となってくると思われます。

そこで今回のセミナーでは、ここに焦点を当て、一般病院（特に急性期）における今回の報酬改定の動向や、経営実践事例の紹介などを通じて、今後の機能強化の方向性を探りたいと思います。今後のあるべき姿を皆様とともに考え、将来に向かっての持続可能性のある経営基盤を確立するためのご参考としていただけるようなセミナーにしたいと思います。

09:50～10:20	受 付 （30 分）
10:20～10:30 （10 分）	オリエンテーション 開会あいさつ 独立行政法人福祉医療機構 理事 宮地 薫
10:30～12:00 （90 分）	「医療提供体制の再編の方向性と平成 24 年度診療報酬改定の概要」 〈講師〉 国際医療福祉大学大学院 医療経営管理学科分野責任者 教授 高橋 泰 氏
12:00～13:10	休 憩 （70 分） ☞ 医療貸付簡易相談コーナー
13:10～14:30 （80 分）	「機能強化により地域に密着した急性期病院を目指して」 〈講師〉 医療法人伴帥会 愛野記念病院 理事長 貝田 英二 氏
14:30～14:40	休 憩 （10 分）
14:40～16:00 （80 分）	「地域医療提供体制の中での後方支援病院としての役割」 〈講師〉 医療法人健康会 理事 嶋田 淳美 氏
16:00～16:10	休 憩 （10 分）
16:10～16:30 （20 分）	「平成 22 年度病医院の経営分析参考指標から見た一般病院の経営実態」 〈説明者〉独立行政法人福祉医療機構 経営支援室 千葉 正展

※ また、講師および講義内容に変更が生じる場合がございますので、あらかじめご了承ください。